



**YOGA  
BUSINESS-5**



*Presented by Shoko Kapalili Hawaii*

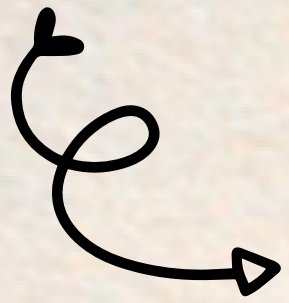






# Today's Curriculums

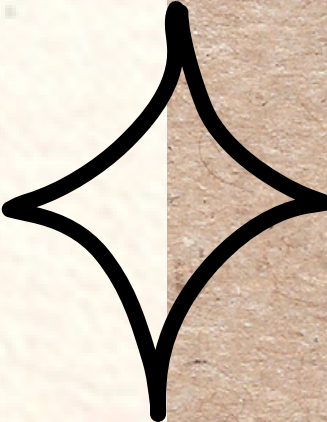


- 
- 1、フリーランスのメリット&デメリット
  - 2、年収400万円のシュミレーション
  - 3、その他の必要経費


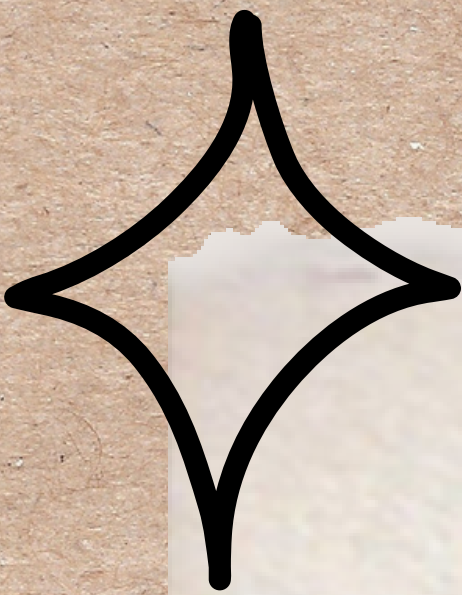




## フリーランスのメリット

- 1、好きな時間と好きな場所で働ける
  - 2、仕事もプライベートも選択肢が増える
  - 3、自分のためだけに働ける
  - 4、成果を出せば全て自分に返ってくる
  - 5、知識があればサラリーマンより手取りを増やすことができる
- 





## フリーランスのデメリット

- 1、仕事に関することが全て自分の責任になる
- 2、圧倒的に孤独である
- 3、お金や老後に関する不安が多い
- 4、成果が出なければ収入はなくなる 不安定
- 5、知識がなければサラリーマンよりも手取りが少なくなってしまう

一長一短





# Any Ready? *yes!*

フリーランスになるのが怖いのは、知らないから!

税金はいくら?

社会保険はいくら?

どんな生活ができるの?

あなたはシュミレーションができていますか?







**FREELANCE**

年収400万円

年収400万円でシュミレーション  
を試してみましょう！フリーラン  
スとなってまずは月収33万円  
この数字を目指しましょう！そ  
んなにハードルの高い数字では  
ありませんね。

**LET'S GO!**





# MY INCOME



## A, 会社員

- 年収400万円
- 手取り310万円

## B, フリーランス

- 年収400万円
- 手取り290万円

## C, フリーランス

- 年収400万円
- 手取り350万円

\*年収が1000万円になると、B&Cの差額はなんと年間100万円!!

\*年間60万円の差!!  
10年で600万円

\*知識がなければ、年収が同じでもこれだけの手取りの差が発生する!!

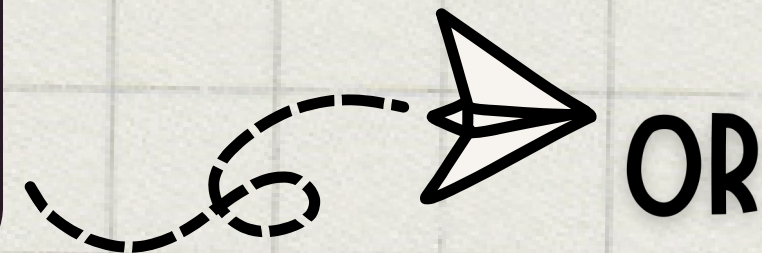




# MY METHOD



B, フリーランス  
年収400万円  
個人事業主



C, フリーランス  
年商80万円法人  
&  
年収320万円  
個人事業主

**WINNER**





# Comparison

B.フリーランス年収400万円の場合

1、所得税	200000円
2、住民税	300000円
3、国民年金	200000円
4、国民健康保険	400000円

★手取り年収 290万円★

C.法人+フリーランス年収400万円の場合

1、所得税・住民税・個人事業税	132000円
2、法人税	70000円
3、健康保険・厚生年金	264000円

★手取り年収 350万円★



年間60万円の差!!  
10年で600万円





# INDEPENDENT CONTRACTOR

## STEP1

会社設立。最低限の年間の法人税7万円の支払い義務有り。自分で作った会社の健康保険・厚生年金に加入。年商は80万円以下、役員報酬は年間55万円以下に設定する。すると、

所得税・住民税	0円!!
健康保険	6000円
厚生年金	16000円となる。

役員報酬を上げない限りこの年間約26万円の金額は変わらない。

## STEP2

個人事業からの年収320万円の所得控除の必要性。収入によって変動する税金を節税する目的。

- 1、基礎控除 48000円
- 2、青色申告特別控除 65000円
- 3、小規模企業共済 84000円
- 4、iDeco 276000円
- 5、社会保険料控除 約14万円

所得控除トータル 23,780,000円


## STEP3

個人事業	320万円
所得控除	240万円
課税所得	80万円

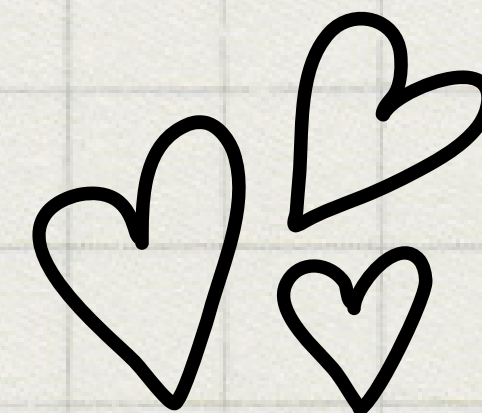
個人事業からの収入によって発生する税金の支払い金額は、所得税・住民税・個人事業税のトータル年間14万円となる。

よって年間合計支払額は約47万円のみとなり、手取りは約350万円。





# QUOTES



税金は”課税所得”に対してかかる!

売上ー経費ー控除＝”課税所得”

\*これが法人&個人事業主の特権である!

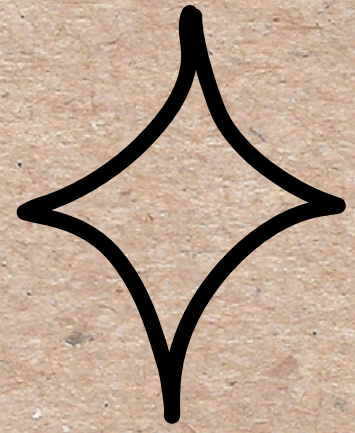
利益が出ても

経費・控除をうまく使えば

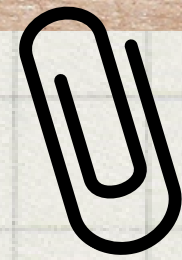
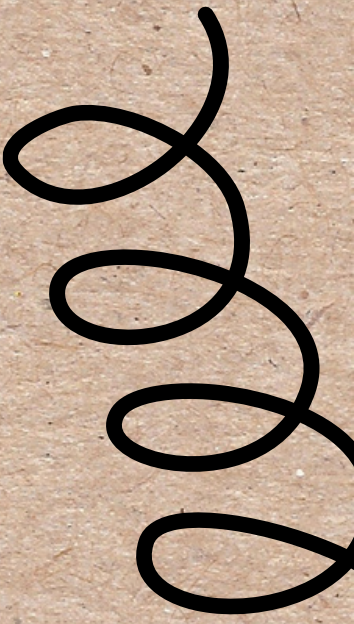
税金を抑えることができる!







# OTHER COSTS



- 1、損害賠償保険
- 2、仕事場所レンタル
- 3、オンラインコスト
- 4、その他必要経費をリストアップしてみよう!



\*フリーランスであれば  
上記のような項目は、全て  
経費として計上できる。

